



第2学期始業式 校長式辞



8月26日(木)

1学期の終業式で「三日坊主を繰り返す」話をしましたが、お手伝いなど続けられたでしょうか。玄関の掃除を頑張った話を聞き、嬉しく、また、頼もしく思いました。

さて、夏休みの期間にオリンピック・パラリンピックが開催されました。日頃見たことのない競技を見ることも、オリンピックなどのいいところですね。

オリンピックをとおして校長先生が感じたことや考えさせられたことがたくさんありますが、その中の3つお話しします。

一つ目、力を振り絞る最後のエネルギーの源は、「感謝の心」なんだなと思いました。今ここにいる自分は自分の力だけではないという思いがここ一番の力となるんだなと思いました。

二つ目、ほとんどの選手が「やめたい」と思ったことが一度や二度ではなく何度もあるようです。けがや水泳の池江さんのような病気もそうですが、勝てない・伸びない・抜かれたといったあせりがおもな原因のようです。

たしかに、やるたびに記録が伸びたり、いつも勝てたり一番だったりすればやめたいとは思わないでしょうね。踏ん張れるかやめてしまうかの違いはなんでしょうね。もしかしたら、「やめたい」と思うところまでは、みんな一緒かもしれません。考えてみて下さい。

三つ目、「頑張る」「努力する」といった言葉は、だれもが使いますが、中身は人によって全然違うということを思いました。例えば、水泳の池江さんの頑張ってきたことを思えば、校長先生が自分を振り返ってみて、自分では頑張ったと思っていたことが、実はほんのちょっと辛抱しただけだったような気がしています。「本当に頑張れる人」になりたいと思いました。

さあ、2学期が始まります。2学期は、皆さんが1学期や夏休みに蓄え整えた力をもとに、大きく伸びるときです。

「本当に頑張れる人」を目指して、日常を丁寧に生き、「さわやか挨拶や黙々そうじ」はもちろん、日々の学習に取り組んでいってほしいと思います。今は新型コロナウイルスの緊急事態宣言が出ています。マスクや手洗い、消毒や距離をとるといったコロナ対策についての日常も、丁寧に行ってください。

エネルギーの源は、「感謝」の心です。「周りに感謝と思いやり」をもって、「自分が輝く、仲間と共に輝く2学期」を創り上げていきましょう。

(校長 上野 明彦)